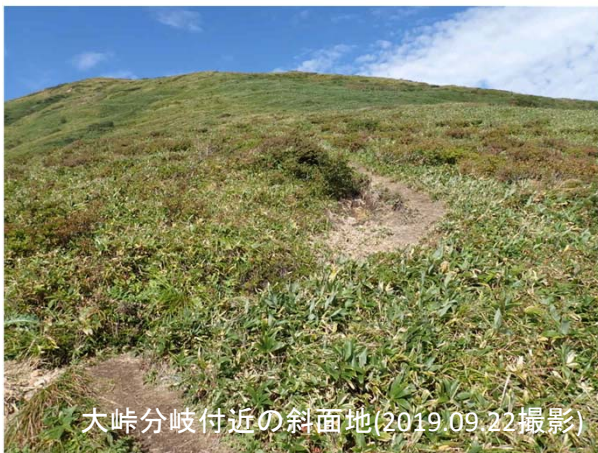


流石山・大峠ミヤマナラ希少個体群保護林

希少-37

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 塩那森林管理署
所在地	栃木県那須塩原市
面積	97.31 ha
設定年	2006(H18)年
保護林の概要 (設定目的)	ミヤマナラ群落が発達する地形と、ハイマツ群落、ニッコウキスゲなどが優占する雪田草原などが地形に応じて分布域を異にしており、地史、地形、気象との関係における分布域の問題を考察する上でも極めて貴重であることから、特異な分布を示すこれらの亜高山帯植生を保護するために設定した。



大峠分岐付近の斜面地(2019.09.22撮影)



雪田草原(優占種:ヌマガヤ)(2019.09.22撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、山頂稜線域の亜高山性群落を代表する地点において調査プロットを合計11箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	多くのプロットでは、前回から群落構造等の大きな変化は確認されず、概ね健全に生育しているものと考えられる。ただし、高山ハイデ及び風衝草地では、ニホンジカの採食圧によりニッコウキスゲが消失し、風衝草地群落に変化しており、今後も影響について把握する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。